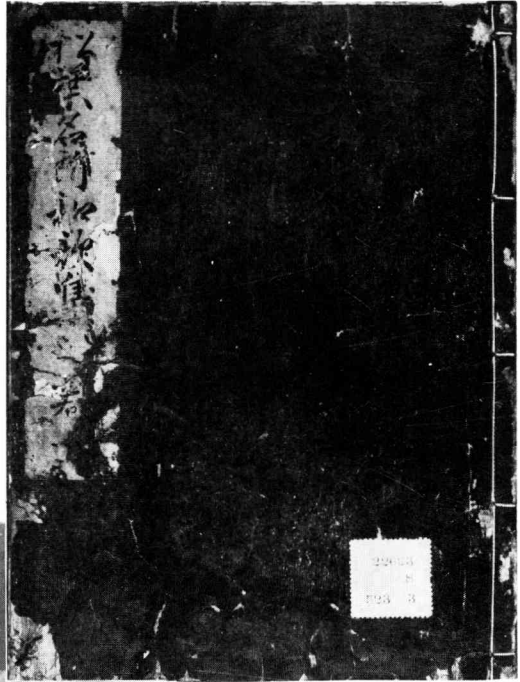


松葉名所和歌集本文及び索引

神作光一 編  
村田秋男

笠間索引叢刊 57





第一圖 静嘉堂文庫蔵「松葉名所  
和歌集」卷第一表紙



第二圖 神作光一蔵「松葉名所和歌集」卷第一表紙

松葉名所和歌集第一 一名号大類字 伊

△石清水

山城

石清水松清水く新見てて入るるのほど五位と小貫之  
家集  
 春毎まきも海さめん石清水かう一花の流りたん  
忠秀  
 君衣乃名園と新とて心れと流ゆえせぬ石清水  
常法  
 石清水の所乃花れさう新水とてそ知ん  
大進  
 思ふと何とてまふ石清水とてて人なるらん  
抄主  
 水春咲花のつらも小雲とあつと山々の花神  
忌録  
 初りて雲井とこれ石清水花とてまふなり  
同  
 昔より水とて石清水世もむひれあつと  
同  
 石清水新なるれさやより新水とて今も松水  
同  
 新日まはると山と石清水今新水とてあつと  
同  
 暮下

鈴野

同

方与集  
 鈴野のつらも小雲とあつと山々の花神  
後

薄野

同

名寄  
 薄野のつらも小雲とあつと山々の花神  
後

枚谷

同

名寄  
 枚谷のつらも小雲とあつと山々の花神  
後

松葉名所和歌集第十五終 六字堂宗惠 集

第三圖 静嘉堂文庫蔵「松葉名所和歌集」本文巻頭及び巻末

松葉名所和歌集第一

一名号大類字

伊

石清水

山城

石清水松法多く氣入して山へくもせむ代は不貫之  
東集  
 春毎まきもほろゆん石清水にけれの流るやいん  
後集  
 君代は中園に彩とてふれ流るやせぬ石清水  
同  
 石清水の所乃花吹雪ゆりゆふをそそけ人  
同  
 山と何とてふ石清水をそそけ人  
拾上  
 いづれ春吹雪花のりりもふ雪とてふ山あけ神意鎮  
同  
 けりし宮井とてれ石清水をそそけ人  
同  
 昔より水とてふ石清水世小むりけり  
同  
 石清水跡のなれとてふ石清水今初末とてふ石清水  
同  
 於日とてふ山あけ石清水今初末とてふ石清水  
同

鈴野

同

鈴野の山あけ石清水今初末とてふ石清水  
方集

薄野

同

薄野の山あけ石清水今初末とてふ石清水  
名寄

枚谷

同

枚谷の山あけ石清水今初末とてふ石清水  
名寄

松葉名所和歌集第十五終

六字堂宗惠集

第四図 神作光一蔵「松葉名所和歌集」本文巻頭及び巻末

のぞらるるのころもなして懸ひ世あは  
わらぬりくまよのころまらあて池あ  
ひかたのころなや津うは浪のころか  
志くそまのころあやふく私とそふれ  
あちか美葉よまふせゆらなはあわり  
れはくくあひあわ田清りくくあり  
わら田子のころあは

六字堂宗惠書

萬治三 庚子年九月吉日

堀河通水上町西表清水半共湯開板

松葉名所

刊記

寛文七丁 稔正月吉日

二條通むね町上村三石屋の開板



第六図 神作光一蔵「松葉名所和歌集」刊記及び板元

第五図 静嘉堂文庫蔵「松葉名所和歌集」刊記及び板元

畿内

山城 大和 河内 和泉 播津

東海道

伊賀 伊勢 志摩 尾張 參河 遠江

駿河 伊豆 甲斐 相模 武藏 安房

上総 下総 常陸

東山道

近江 美濃 飛彈 信濃 上野 下野

陸奥 出羽

北陸道

若狹 越前 加賀 能登 越中 越後 佐渡

畿内

山城 大和 河内 和泉 播津

東海道

伊賀 伊勢 志摩 尾張 參河 遠江

駿河 伊豆 甲斐 相模 武藏 安房

上総 下総 常陸

東山道

近江 美濃 飛彈 信濃 上野 下野

陸奥 出羽

北陸道

若狹 越前 加賀 能登 越中 越後 佐渡

第七图 静嘉堂文库・神作光一藏「松葉名所和歌集」國名目録（目録一丁表）

松葉名所和歌集國分目錄

山城

石清水	稻荷	齋院	今宮
岩神社	石藏	石敷	泉河
石田小野	石河	出雲道	市河
今里	伊依奈卷瀧	花山	柞森
葉室	羽束師杜	西河	仁和寺
西市	蛭川	常磐岩	鳥羽
戸難瀨	隣罌	鳥部	鞆罌
常磐岩弁	杵尾	千代古道	長樂寺
靈山	音羽	小塩	小蔵山

松葉名所和歌集國分目錄

山城

石清水	稻荷	齋院	今宮
岩神社	石藏	石敷	泉河
石田小野	石河	出雲道	市河
今里	伊依奈卷瀧	花山	柞森
葉室	羽束師杜	西河	仁和寺
西市	蛭川	常磐岩	鳥羽
戸難瀨	隣罌	鳥部	鞆罌
常磐岩弁	杵尾	千代古道	長樂寺
靈山	音羽	小塩	小蔵山



名所集の巻々を今代なり  
 わましく人のりておぼふ八類字名所和歌集  
 りは書先年は橋昌琢正一代集の名所  
 奇あともま接て八巻の集法書出せり  
 よも宗碩法師勅撰名所集法書あり  
 かり又法因乃奇抄類聚名所和歌集遠徳百  
 首を介奇抄名所集様々も多きことあり  
 乃名所中巻乃底はおさよりてかゝる人  
 なることありし事多しは是れ世に代集の介り  
 不の奇なりふはして是法書付すは是後  
 書とありし松葉集と名所集とありしは

のぞらるるものもなして懸く世あり  
 あらゆることよもなまらめて池あり  
 のひかたわりのわく岸うは浪のふりか  
 志くそちりをもめゆるし秘とてしり  
 ありなま草葉よまらせゆるたうあわり  
 けはくくおのへあらわ田波のくくあり  
 あら田子乃志とてあり

六字堂宗惠書

萬治三 庚子年九月吉日

堀河通水上町西表清水半共湯開板

第九図 静嘉堂文庫蔵「松葉名所和歌集」跋文一丁表及び四丁裏



松葉名所和歌集 本文及び索引 目次

本文篇

凡例

目録

卷第一	三
卷第二	七
卷第三	一六
卷第四	二六
卷第五	三六
卷第六	四六
卷第七	五六
卷第八	六六
卷第九	七六
卷第十	八六
卷第十一	九六
卷第十二	一〇六
卷第十三	一一六
卷第十四	一二六
卷第十五	一三六

索引篇

初句・四句索引……………三六五

凡例……………三六六

地名索引……………三六五

凡例……………三六六

解題（I・II）

I 『松葉名所和歌集』について……………村田 秋男……………三六九

付録 「集付」「作者名」検討結果一覧表……………三六四

II 『松葉名所和歌集』所引の「玉計集」「七帖抄」について……………神作 光一……………三六九

——散佚歌集復原の試み——

あとがき……………三七三

神作光一 (かんさく こういち)

千葉県に生まれる。

昭和30年 東洋大学文学部国文学科卒業  
昭和36年 東洋大学大学院博士課程修了  
現職 東洋大学文学部教授および都留文科大学講師  
著書 『首禰好忠集の校本・総索引』(笠間書院 昭48刊)  
『首禰好忠集の研究』(笠間書院 昭49刊)  
『首禰好忠集全釈』(共著)(笠間書院 昭50刊)  
『歌枕名寄』(共編)(古典文庫 昭49～昭51刊)等

村田秋男 (むらた あきお)

茨城県に生まれる。

昭和45年 茨城大学教育学部卒業  
昭和50年 東洋大学大学院博士課程中退  
現職 東洋大学文学部助手および鶴見大学講師  
論文 寢覚記小考(「東洋大学大学院紀要」第10集 昭49.2)  
「松葉名所和歌集」について(「文学論叢」第51号 昭51.12)  
「名所古歌集」翻刻と研究(「東洋」昭51.1～昭52.5)

松葉名所和歌集本文及び索引

●笠間索引叢刊57

昭和52年12月15日 初版発行

¥ 12,000

検印  
省略

編者 神作光一◎  
村田秋男

発行者 池田猛雄

発行所 有限会社笠間書院

〒101 東京都千代田区神田神保町 1-46

☎ 03-295-1331(代) 振替東京 1-56002

3381-852057-0924

科学図書印刷・手塚製本所